

1 薬学専攻博士課程

1. カリキュラム表

科目区分	科目名	配当 回生	開講 期間	必修／選択	単位数	開講 年度	備 考	
専 門 科 目	医療薬学分野科目	医療情報分析学特論	1	秋	選択	2	奇数	オムニバス
		医薬品安全評価学特論	1	春	選択	2	奇数	
		創剤学特論	1	秋	選択	2	偶数	
		病原微生物学・感染症学特論	1	春	選択	2	奇数	
		分子生物薬剤学特論	1	春	選択	2	偶数	
		臨床治療学特論	1	春	選択	2	奇数	
		高度薬剤師養成演習1	1	通年	選択	3		
		高度薬剤師養成演習2	1	通年	選択	3		
		高度薬剤師養成演習3	1	通年	選択	3		
	病態生理解析分野科目	細胞工学特論	1	秋	選択	2	奇数	オムニバス
		上皮バリアと輸送特論	1	秋	選択	2	偶数	
		生活習慣病特論	1	春	選択	2	偶数	オムニバス
		天然薬物学特論	1	秋	選択	2	奇数	オムニバス
		副作用学特論	1	秋	選択	2	偶数	オムニバス
分子病態学特論		1	春	選択	2	奇数	オムニバス	
特 別 研 究 科 目	薬学特別研究1	1	通年	選択	4			
	薬学特別研究2	2	通年	選択	4			
	薬学特別研究3	3	通年	選択	4			
	薬学特別研究4	3・4	通年	選択	4			

※開講年度の「奇数」は奇数年度、「偶数」は偶数年度に開講します。

カリキュラムマップ

カリキュラムマップは、科目とディプロマポリシーの対応関係を一覧にしたものです。

科目区分	科目名	科目ナンバリング	ディプロマポリシー				
			薬剤師としての高度な専門的な知識や技能を通じて医療の進歩、発展に貢献できる。		薬剤師・薬学研究者として基礎研究と臨床研究との橋渡しを通じて、医療の進歩、発展に貢献できる。	薬学研究者として薬学領域、生命科学領域の学術の進歩、発展に貢献できる。	
			知識	技能			
専門	医療薬学分野科目	医療情報分析学特論	GPHPH14ME101J	○		○	
		医薬品安全評価学特論	GPHPH14ME102J	○		○	
		創剤学特論	GPHPH14ME103J	○		○	
		病原微生物・感染症学特論	GPHPH14ME104J	○		○	
		分子生物薬剤学特論	GPHPH14ME105J	○		○	
		臨床治療学特論	GPHPH14ME106J	○		○	
		高度薬剤師養成演習1	GPHPH14ME107J		○	○	
		高度薬剤師養成演習2	GPHPH14ME108J		○	○	
		高度薬剤師養成演習3	GPHPH14ME109J		○	○	
	病態生理解析分野科目	細胞工学特論	GPHPH14PA101J	○			○
		上皮バリアと輸送特論	GPHPH14PA102J	○			○
		生活習慣病特論	GPHPH14PA103J	○			○
		天然薬物学特論	GPHPH14PA104J	○			○
副作用学特論		GPHPH14PA105J	○			○	
分子病態学特論		GPHPH14PA106J	○			○	
特別研究科目	薬学特別研究1	GPHPH14RE101J	○	○	○	○	
	薬学特別研究2	GPHPH14RE201J	○	○	○	○	
	薬学特別研究3	GPHPH14RE301J	○	○	○	○	
	薬学特別研究4	GPHPH14RE401J	○	○	○	○	

科目ナンバリング

科目ナンバリングは、授業科目に当該科目のカリキュラム上の位置づけに対応する番号を付すことで、学生が科目の系統履修および修了要件充足の自己管理を容易にするためのものです。

科目ナンバリングの基本フォーマット

G	P	H	P	H	1	4	M	E	1	0	1	J
研究科	専攻	カリキュラム年度		科目区分	配当回生	分類番号	使用言語					
①	②	③		④	⑤	⑥	⑦					

① 3桁のアルファベットで学部・研究科・全学横断科目の区分を表しています。

【研究科の区分コード】

薬学研究科	GPH
-------	-----

② 2桁のアルファベットで専攻の区分を表しています。

【専攻区分コード】

薬学専攻		PH
薬科学専攻	博士課程前期課程	PM
	博士課程後期課程	PD

③ 2桁の数字はカリキュラム年度を表しています。

④ 2桁のアルファベットで科目区分を表し、卒業要件と対応させています。

【薬学専攻科目区分コード】

科目区分	ナンバリング設定
医療薬学分野科目	ME
病態生理解析分野科目	PA
特別研究科目	RE

【薬科学専攻博士課程前期課程科目区分コード】

科目区分		ナンバリング設定
専門	コア	CO
	選択	SE
薬科学研究科目	演習	PR
	特別実験	RE
自由科目		FR

【薬科学専攻博士課程後期課程科目区分コード】

科目区分	ナンバリング設定
専門科目	SP
薬科学研究科目	RE

- ⑤ 1桁の数字で配当回生を表しています。
- ⑥ 整理番号として2桁の数字で分類番号を表しています。
- ⑦ 1桁のアルファベットで使用言語を表しています。

【使用言語コード】

日本語開講	J
英語開講	E

2. 科目区分ごとの必要単位数

薬学研究科博士課程を修了するためには、4年間（標準修了年限）以上在学するとともに、専門科目で14単位以上（医療薬学分野と病態生理解析分野の2つの分野のうち、選択した分野科目から10単位以上、選択しなかった分野科目から4単位以上）、特別研究科目から16単位修得し、かつ博士論文の審査及び最終試験に合格しなければなりません。

科目区分	必要単位数	合計
専門科目	14単位以上 (選択した分野科目から10単位以上、選択しなかった分野科目から4単位以上)	30単位
特別研究科目	16単位	

3. セメスターごとの登録上限単位数

1年間に履修科目として登録することができる単位数の上限はありません。